

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

TSUKUBA STARTUP STRATEGY

つくば市
スタートアップ戦略

概要版

2021年3月改定



VISION

STAND
BY
STARTUP

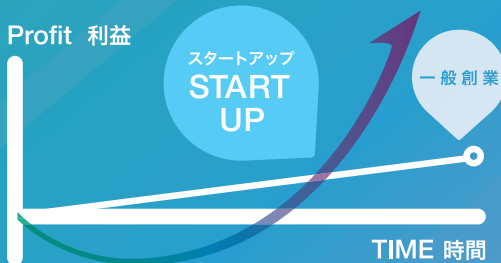
DEPLOYMENT
CITY
TSUKUBA

スタートアップに寄り添うまち
スタンドバイ・スタートアップ

科学技術が社会実装されるまち
ディプロシティつくば

WHAT? スタートアップとは

つくば市ではスタートアップを「新たなビジネスモデルを開拓し急成長を目指す会社」として捉えています。スタートアップと一般創業では成長方法に特徴的な違いがあります。一般的にスタートアップは赤字期間を経て急激に成長し（成長曲線の形状から「Jカーブ」と呼ばれます）一般創業は徐々に成長する傾向があります。



WHY? なぜスタートアップ戦略?

日本では 2017 年にスタートアップによる資金調達額が過去 10 年間で最高額となり、政府の「未来投資戦略 2018」では「企業価値又は時価総額が 10 億ドル以上となる、未上場ベンチャー企業（ユニコーン企業）又は上場ベンチャー企業を 2023 年までに 20 社創出」することが掲げられました。自治体においてもスタートアップ創出への積極的な取組が始まっています。

つくば市は研究学園都市として約 150 の研究機関に最先端の研究・事業シーズ、そして約 2 万人の研究従事者が集積しています。そのため、つくばに集積されたシーズから数多くのスタートアップが生まれる可能性があります。

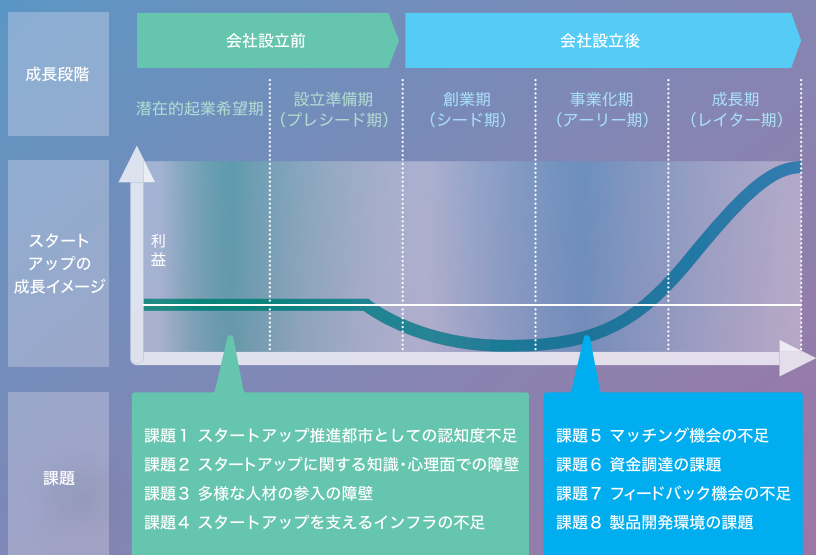
スタートアップは社会問題の解決や革新的な技術開発、新たな産業の創出等の可能性を秘めており、つくば市のポテンシャルを更に引き出すエンジンとしての役割が期待されます。「つくば市人口ビジョン」では 2036 年をピークにつくば市の人口は減少局面に突入することが予想されており、スタートアップの創出は人口の維持や税収の確保においても不可欠です。

このようなスタートアップの力を最大化するため、つくば市ではスタートアップの設立から事業化、その後の成長を一貫して推進する支援策を提供する「つくば市スタートアップ戦略」を策定することとしました。

TASK 課題

スタートアップの成長段階を整理した場合、「潜在的起業希望期～創業期」においては、スタートアップに関する知識・心理面での障壁・スタートアップを支えるインフラの不足等があり、「創業期～事業化期」においては、資金調達の課題・製品開発環境の課題等が見られます。つくば市では創業期中盤に対して、市内各支援機関による創業支援の取組が数多く行われています。一方、「潜在的起業希望期～創業期」や「創業期～事業化期」における各支援機関による取組は、本戦略策定時から増えてきているものの、まだ十分とは言えず、これらの段階において直面する課題に、各支援機関と連携しながら取組を検討し、対応していく必要があります。

本戦略では、行政ならではの強みを十分に活かした施策を費用対効果を重視しながら戦略的に実施していきます。また、関係機関とのパートナー連携を戦略的に推進していきます。



KPI

ビジョンの実現に向けて、つくば市では以下の2つの成長段階に対する施策を重点的に実施し、KPIの達成を目指します。

I 新規参入促進（潜在的起業希望期～創業期）

KPI1：2018年度以降のスタートアップ創業数（累積）

2020年度実績 15件
（※2020年12月現在）

2021年度目標
22件

2022年度目標
30件

II 事業化期への移行促進（創業期～事業化期）

KPI2：スタートアップの資金調達額

2016～2020年度の年平均資金調達額
約6.3億円（※2020年12月現在）

2021年度目標
7.6億円

2022年度目標
9.2億円

KPI3：スタートアップとの実証実験数

2019年度実績
8件

2020年度実績 7件
（※2020年12月現在）

2021年度目標
10件

2022年度目標
10件

I、IIの成長段階共通のKPI

KPI4：スタートアップのエグジット件数

2019年度実績
0件

2020年度実績 0件
（※2020年12月現在）

2021年度目標
1件

2022年度目標
1件

KPI5：スタートアップの流入数

2019年度実績
0件

2020年度実績 2件
（※2020年12月現在）

2021年度目標
2件

2022年度目標
2件

KPI6：スタートアップでの就業者数

2019年度実績
1人

2020年度実績 410人
（※2020年12月現在）

2021年度目標
441人

2022年度目標
482人

これまでの主な取組



つくばのスタートアップにまつわる“全て”が変わる拠点

つくばスタートアップパーク
TSUKUBA STARTUP PARK

つくばスタートアップパークリニューアル

市が運営するインキュベーション施設として、2019年10月に「つくばスタートアップパーク」をリニューアルオープンしました。交流スペース、カフェ、コワーキングスペース、ミーティングルームの他、起業相談等スタートアップのビジネスを推進する様々なサービスを提供しています。



パートナーシップの強化

ディープテック・スタートアップの世界的拠点を目指すため、2020年2月に「つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」を設立しました。また、「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」にも参画し、2020年7月に国から「スタートアップ・エコシステム拠点都市」に選定されました。



スタートアップ向け社会実装トライアル支援

つくば市では、「つくば Society 5.0 社会実装トライアル支援事業」や「つくば市未来共創プロジェクト」をとおり、社会課題を解決する革新的な技術やアイデアを公募し、スタートアップが開発した製品・サービスの社会実装を支援しています。



市外へ向けた情報発信の強化

2019年7月、東京虎ノ門ヒルズでつくばのスタートアップエコシステムをPRするイベント「Tsukuba Startup Night」等を開催し、延べ500人を超える参加者がありました。

01

新規参入促進の実現に向けて

潜在的起業希望期～創業期

Policy
01

市外への情報発信と
パートナーシップの強化

■ 施策1 ■ 市外へ向けた情報発信の強化

つくば市内外のスタートアップ、投資家、土業関係者等が集まり、プレゼンテーションや交流ができるネットワーキングイベントを市外で開催します。また、全国的なスタートアップイベントの誘致も実施します。

■ 施策2 ■ スタートアップ推進に向けたパートナーシップの強化

国、茨城県、スタートアップ都市推進協議会、日本貿易振興機構（JETRO）等との連携を強化するとともに、つくば市の姉妹都市であるグルノーブル、アーバイン市、ケンブリッジ市、友好都市である深セン市とのネットワークを活かし、スタートアップ推進に向けて、相互交流促進、海外展開支援等に取り組みます。

Policy
02

市内への情報発信と参入促進

■ 施策3 ■ 市民向けスタートアップセミナーの実施

市民におけるスタートアップの認知度向上を図るため、市民向けのセミナーを定期的の実施します。

■ 施策4 ■ 小中高校生向け起業セミナーの実施

小中高校生の起業マインドを向上させるため、スタートアップ経営者等を講師とした起業セミナーを実施します。

■ 施策5 ■ ビジネスプランアワードへの参加支援の実施

スタートアップのビジネスプランを改善する機会を提供するため、各種ビジネスプランアワード（表彰制度）の開催情報の提供や参加費用の補助を実施します。

■ 施策6 ■ アクセラレーションプログラムの提供

スタートアップの成長を加速させるため、アクセラレーションプログラムを提供します。

Policy
03

創業環境の利便性向上

■ 施策7 ■ つくばスタートアップパークの環境整備

スタートアップの交流拠点としてつくばスタートアップパークの活用を促進します。

■ 施策8 ■ 市内外インキュベーション施設との連携促進

市内インキュベーション施設との連携を図り、つくばスタートアップパークを利用するスタートアップが活動しやすい環境を整えます。また、市外インキュベーション施設とも連携を図ることで、市外でのビジネス活動が円滑に進められる環境を整えます。

■ 施策9 ■ 創業手続ワンストップサポートの提供

創業手続に関する書類の作成等の専門的なサポートを実施します。

Policy
04

経営ノウハウ共有機会の充実

■ 施策10 ■ 専門的な経営知識の習得機会の構築

起業希望者やスタートアップのニーズ、成長段階に応じて、事業計画の作成、労務、法律、特許等の知識を習得できるイベントを実施するほか、各種専門家にこれらが相談できる仕組みを構築します。

Policy
05

研究シーズ事業化の後押し

■ 施策11 ■ 研究機材シェアリングの促進

市内研究機関内の研究機材を紹介するセミナーやツアーを実施する等、スムーズに研究機材利用ができる仕組みを構築します。また、テクノロジー系スタートアップと市内研究機関内の研究機材をマッチングする仕組みを構築します。

■ 施策12 ■ 研究者等への情報発信

市内研究機関と連携し、研究者向けにスタートアップに関する情報発信を行い、起業に対する興味関心を高めます。

■ 施策13 ■ スタートアップ関係者向けの情報提供

スタートアップ関係者（ベンチャーキャピタルの投資家、金融機関、大企業等の担当者）に向けた各研究機関の研究事業シーズやスタートアップの情報提供を行います。

Policy
06

多様な人材の参入促進

■ 施策14 ■ 外国人起業・就労サポート

外国人が起業する上で必要な経営・管理ビザや就労ビザについて、取得する際のハードルを下げるためのサポートを実施します。また、日本の雇用ルールの理解促進や外国人雇用のための各種手続のサポートを行い、多様な人材が活躍できる環境を整備します。

Policy
07様々なリソースへの
アクセス環境の充実

■ 施策15 ■ 求める人材へのアクセス環境の構築

経営者等のビジネス人材、技術スタッフ、新規卒業者、アルバイト、インターン等、スタートアップが各フェーズで必要となる人材にアクセスしやすい環境を構築します。

■ 施策16 ■ 資金調達へのアクセス環境の構築

ベンチャーキャピタルの投資家や銀行等の金融機関にスタートアップが相談できる機会を充実させることで、資金調達につながりやすい環境を構築します。

Policy
08社会実装による製品・
サービスの確立支援

■ 施策17 ■ スタートアップ向け社会実装トライアル支援

スタートアップが開発した製品・サービスの社会実装トライアル支援を実施します。また、トライアル後も、倫理的・法的・社会的課題等、技術的課題以外の側面も支援しながら、事業拡大に向けたフォローアップを行います。

Policy
09

初期ユーザーとのマッチング支援

■ 施策18 ■ トライアル発注認定制度の見直し

つくば市トライアル発注認定制度を見直し、スタートアップにおいても積極的に認定できる仕組みとすることで、スタートアップの販路拡大を支援します。

■ 施策19 ■ 地元企業との相談機会提供

スタートアップと地元企業がそれぞれの持つ課題を共有し、双方のソリューションとのマッチングを図る仕組みを構築します。

Policy
10

規制改革に関する提案受付

■ 施策20 ■ スタートアップからの規制改革提案受付

スタートアップが事業を進める上で課題となる規制等について、改革の提案を受け付け、市における規制緩和や国への提案等を実施します。

Policy
11テクノロジー系スタートアップに
特化した成長資金の提供

■ 施策21 ■ つくば版 SBIR の実施

つくば市の強みであるテクノロジー系スタートアップの成長を後押しすることを目的につくば版 SBIR の制度を構築します。

Policy
12成長段階に応じたオフィス・
工場用地の確保支援

■ 施策22 ■ 不動産情報共有ネットワークを活用した情報提供

公益社団法人茨城県宅地建物取引業協会（2018年協定締結）と連携し、スタートアップへの不動産についての情報提供を実施します。中心市街地においてオフィス環境をさらに充実していくことも検討します。

■ 施策23 ■ スタートアップ向けのオフィス賃料補助

スタートアップがつくば市に事業所を設置する際の経費の一部を補助します。

世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

つくば市スタートアップ戦略 2021年3月改定

編集発行：つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課
スタートアップ推進室

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL 029-883-1111(代表)